

安川電機 (6506)

2014年度4-12月期業績概要

(対象期間: 2014年3月21日～2014年12月20日)

本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。

実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

1. 2014年度4-12月期決算

- ・2014年度4-12月期実績
- ・事業セグメント別売上高構成比(13/4-12月期 ⇒ 14/4-12月期)
- ・仕向先別売上高・売上高構成比
- ・営業利益増減要因分析(13/4-12月期 ⇒ 14/4-12月期)
- ・2014年度3Qにおける取り組み

2. 2014年度通期見通し

- ・2014年度通期見通し
- ・営業利益増減要因分析(2013年度 ⇒ 2014年度)

3. 参考資料

- ・設備投資、研究開発費、為替状況(2012~14年度計画)
- ・B/S構造の推移
- ・四半期連結売上高推移
- ・主要生産拠点

セグメント別事業概要

モーションコントロール (M)

【主要製品】

- ・ACサーボモータ、コントローラ
- ・リニアサーボ
- ・インバータ
- ・パワーコンディショナ
- ・EV用モータドライブシステム など



ACサーボ



汎用インバータ



太陽光発電用
パワーコンディショナ



EV用モータドライブ
システム

ロボット (R)

【主要製品】

- ・産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接・塗装ロボット
 - FPD搬送ロボット、新世代ロボット、ハンドリングロボット
- ・半導体製造装置用ロボット
- ・バイオ・メディカル用途向けロボット など



レーザー切断・溶接対応
高精度軌跡ロボット



バイオメディカル向け
新形双腕ロボット



パラレルリンクロボット

システムエンジニアリング (S)

【主要製品】

- ・鉄鋼プラント用電機システム
- ・上下水道用電気システム
- ・大型・小形風力発電機 など



上下水道用
電機システム



連続鋳造設備



大形風力発電用
発電機とコンバータ

その他

【主要製品】

- ・情報関連事業
- ・物流サービス など

1. 2014年度4-12月期決算

- ・堅調な(M)(R)が牽引し、増収増益
- ・売上高・純利益ともに過去最高

	<u>14/4-12月期</u>	13/4-12月期	<u>前年同期比</u>	
売上高	<u>2,874億円</u>	2,596億円	<u>+278億円</u>	<u>+10.7%</u>
営業利益	<u>221億円</u>	171億円	<u>+50億円</u>	<u>+28.9%</u>
経常利益	<u>238億円</u>	185億円	<u>+54億円</u>	<u>+29.0%</u>
四半期純利益	<u>179億円</u>	113億円	<u>+66億円</u>	<u>+59.0%</u>

[注] 表記：(M) = モーションコントロール、(R) = ロボット

・ (M)(R)は、売上・営業利益ともに過去最高

（単位：億円）

	2014/4-12月期		2013/4-12月期		前年同期比	
		利益率		利益率	増減額	増減率
売上高	2,874		2,596		+278	+10.7%
(M) モーションコントロール	1,386		1,206		+179	+14.9%
(R) ロボット	982		865		+116	+13.4%
(S) システムエンジニアリング	239		224		+16	+7.1%
その他	268		301		▲33	▲10.9%
営業利益	221	7.7%	171	6.6%	+50	+28.9%
(M) モーションコントロール	166	12.0%	120	10.0%	+45	+37.7%
(R) ロボット	75	7.6%	65	7.5%	+10	+15.9%
(S) システムエンジニアリング	▲17	▲6.9%	▲9	▲3.9%	▲8	-
その他	7	2.4%	5	1.6%	+2	+34.9%
消去または全社	▲10	-	▲10	-	▲0	-
経常利益	238	8.3%	185	7.1%	+54	+29.0%
四半期純利益	179	6.2%	113	4.3%	+66	+59.0%

(M):

- ACサーボは、スマートフォン・タブレット、自動車関連の旺盛な需要を背景に、国内外ともに好調
- 汎用インバータは堅調。一方、太陽光パワコンは、大手電力会社による再生可能エネルギーの発電設備に対する接続申込みの回答保留の影響もあり、好調だった前年同期に比べ低調

(R):

- 中国を中心に自動車向けが牽引し、国内外ともに好調

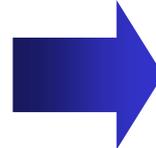
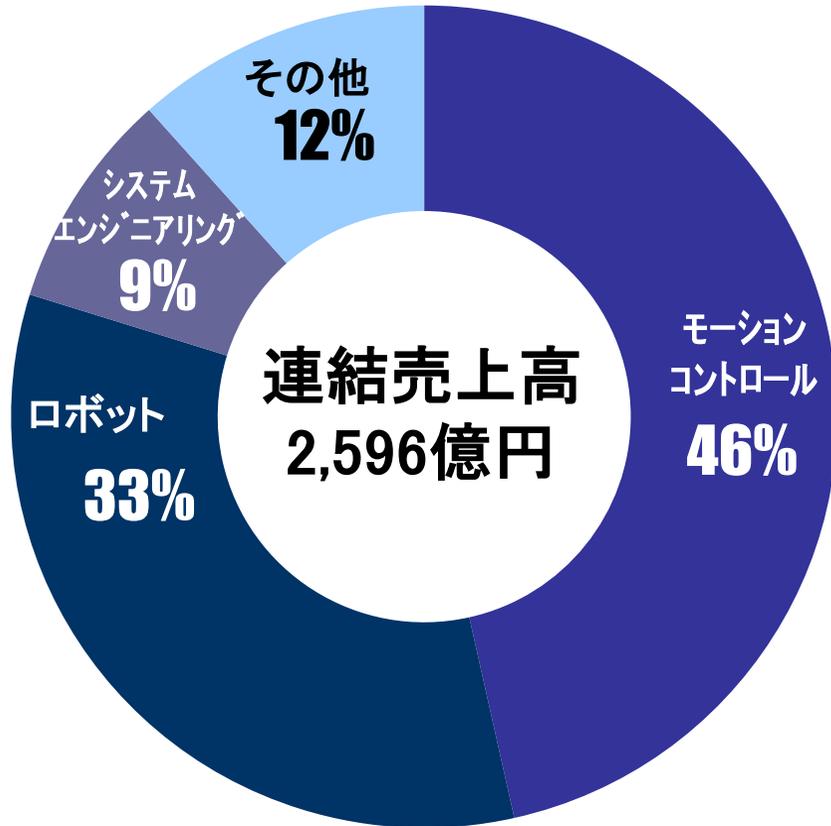
(S):

- 主力の鉄鋼プラント向けおよび水処理関連ともに低調

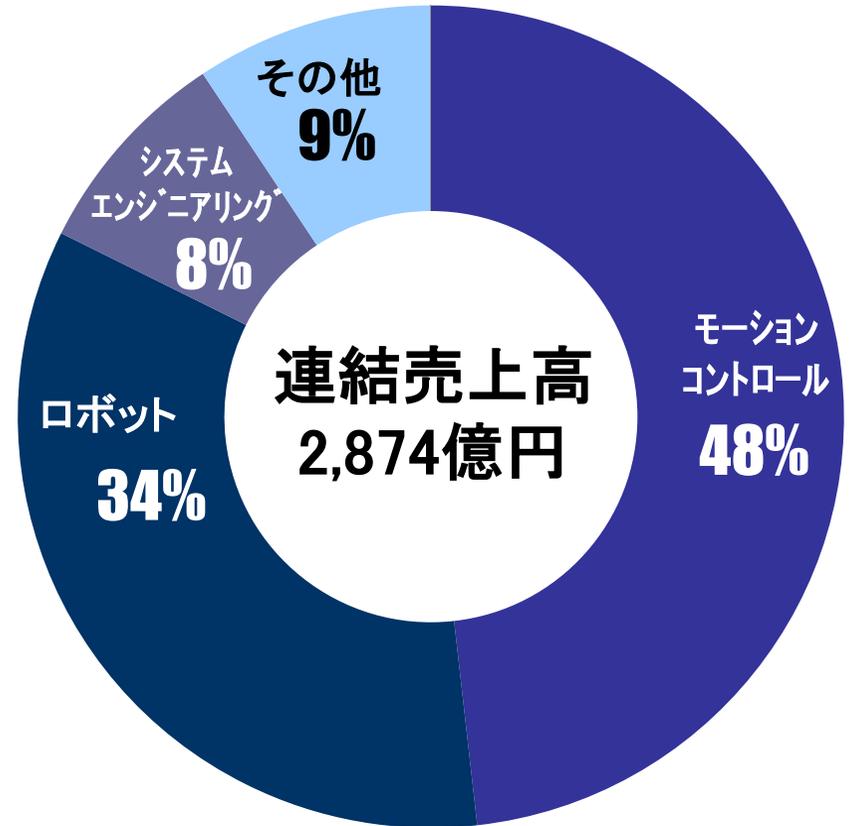
(注) 表記(M) = モーションコントロール、(R) = ロボット、(S) = システムエンジニアリング

事業セグメント別売上高構成比

13年度4-12月期



14年度4-12月期



・好調な米州・中国・アジアを中心に海外売上が前年同期比で伸張

(単位: 億円、%)

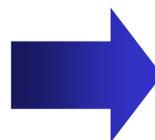
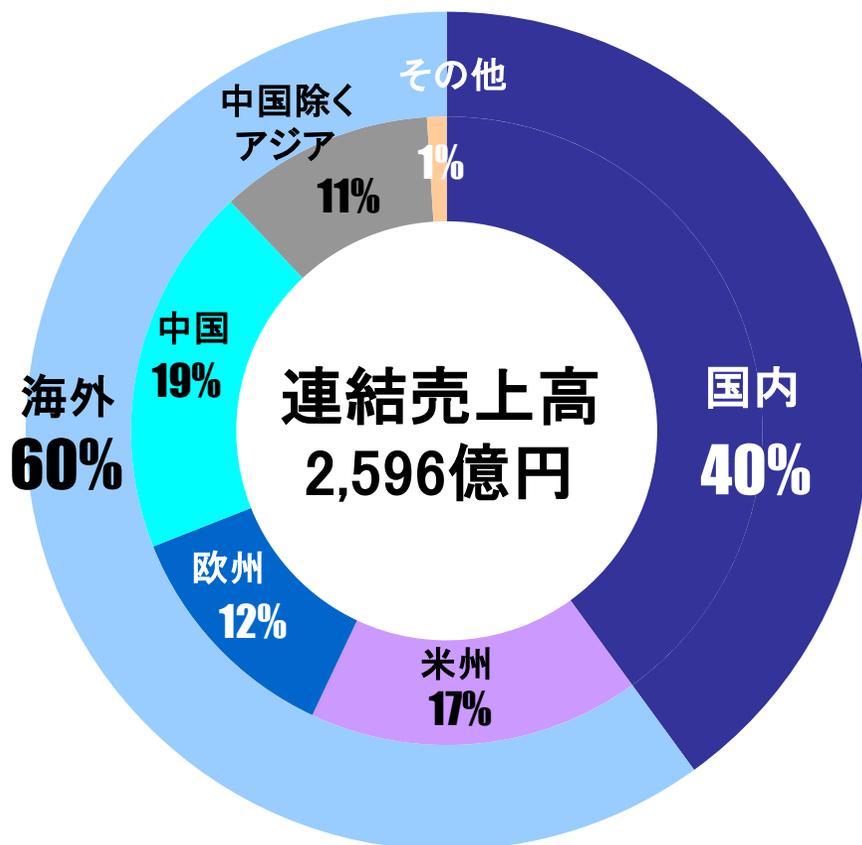
	14年度 4-12月期	13年度 4-12月期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	2,874	2,596	+278	+10.7%
国内	1,026	1,024	+1	+0.1%
海外	1,849	1,572	+277	+17.6%
米州	518	428	+90	+20.9%
欧州	341	313	+28	+9.0%
中国	618	502	+116	+23.1%
中国除くアジア	344	300	+44	+14.7%
その他	27	28	▲1	▲2.8%

[注] その他には、南アフリカ、オーストラリア等を含みます。

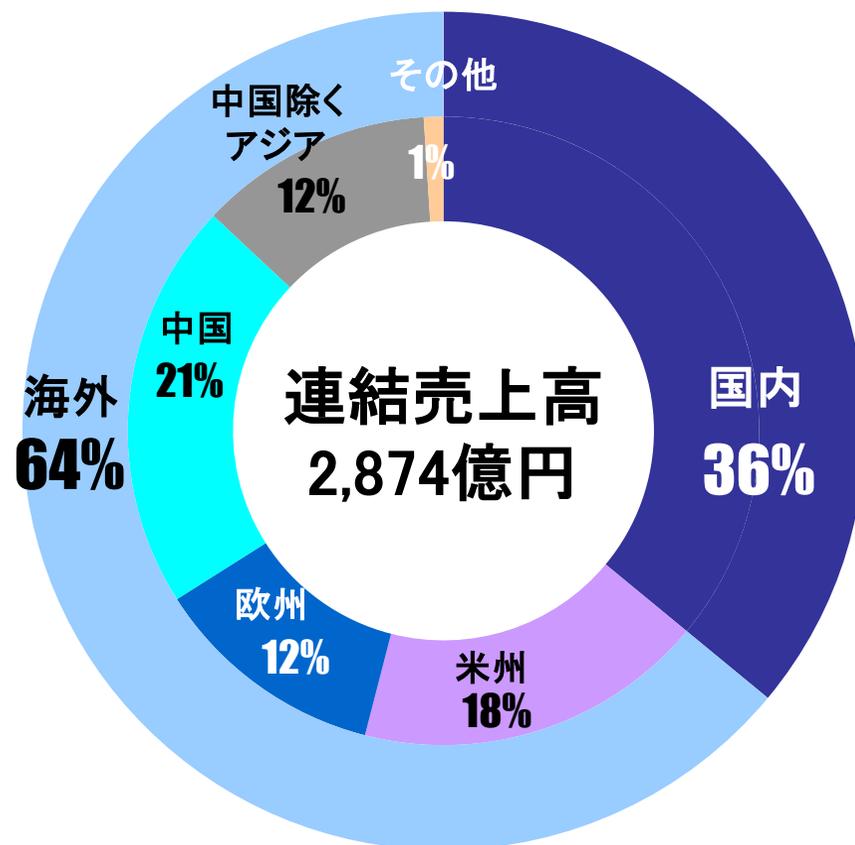
仕向先別売上高構成比

- 米州・中国を中心に、海外売上高比率が伸張

13年度4-12月期

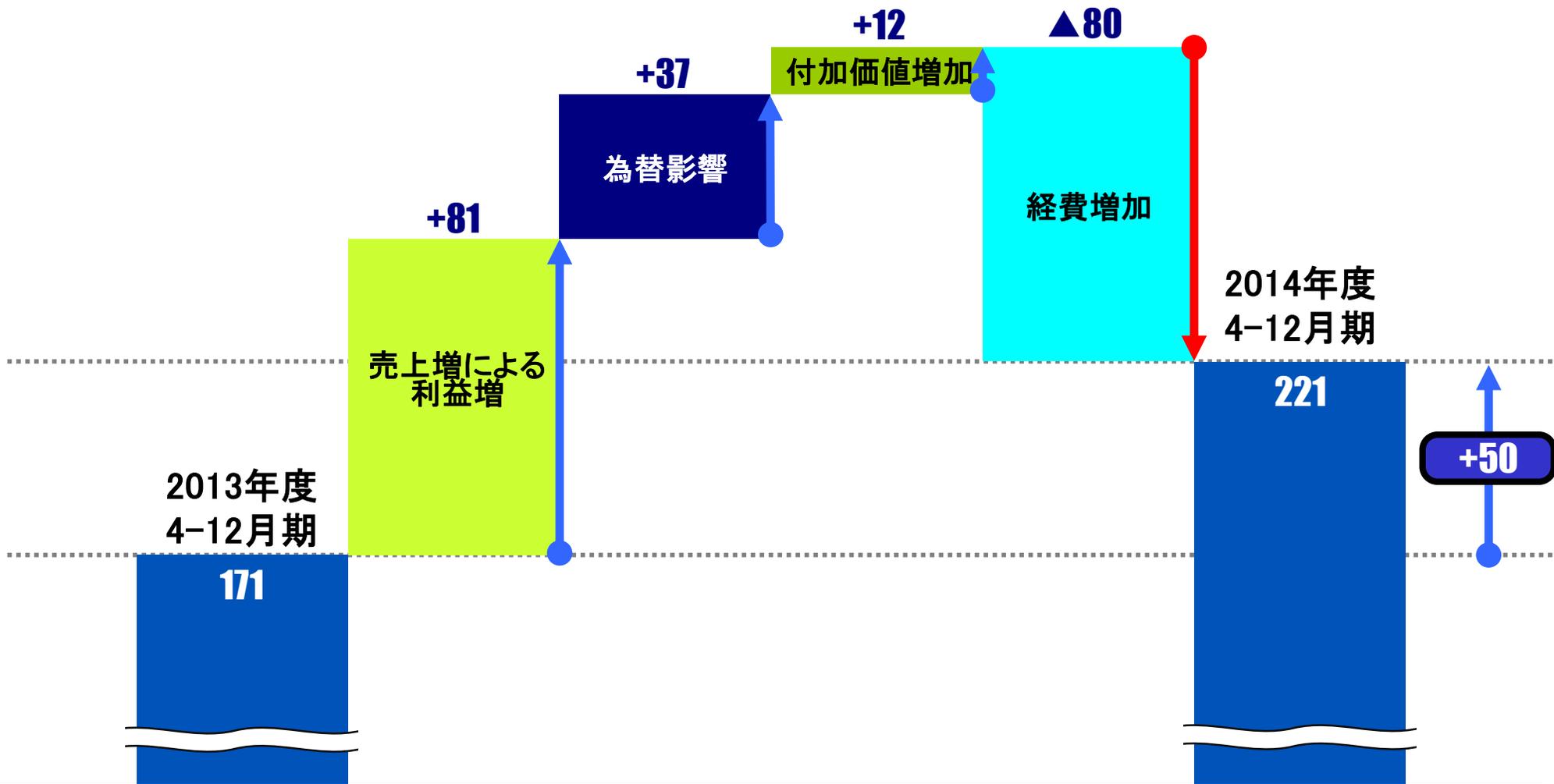


14年度4-12月期



営業利益増減要因分析(13年度4-12月期⇒14年度4-12月期)

(単位: 億円)



2014年度3Qにおける取り組み①

1) 世界初GaNパワー半導体モジュール搭載の太陽光発電用パワコン

「Enewell-SOL V1シリーズ4.5kW」販売開始(15年1月)

⇒世界最小クラス(従来製品比60%)

⇒家庭用パワコンの安定した需要の取り込みを強化



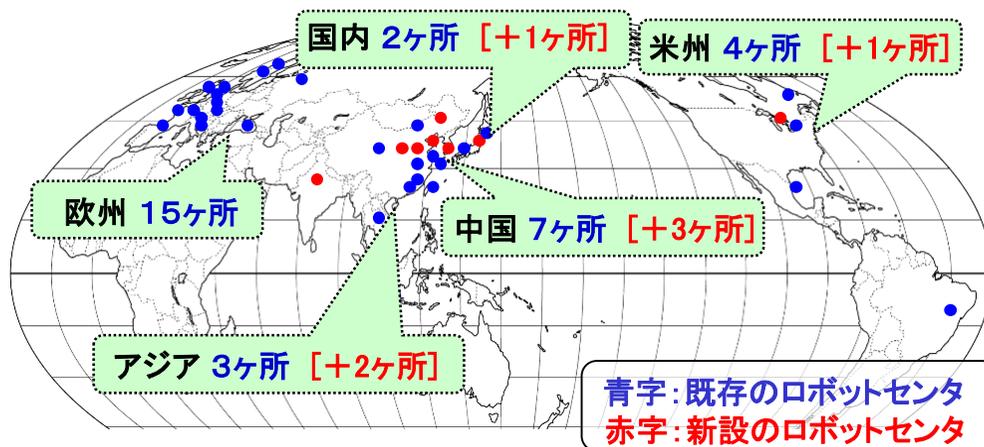
Enewell-SOL V1シリーズ4.5kW

2) ロボットセンタのグローバル展開

⇒インドネシアロボットセンタの新設(14年10月)

⇒ロボットセンタのグローバル拠点拡大

31ヶ所(14年度末) + 7ヶ所(15年度中) = 38ヶ所(15年度末)



インドネシアロボットセンタ

2014年度3Qにおける取り組み②

3) 急拡大する需要に対応し、国内ロボット生産体制を強化

⇒ロボット新第3工場(中・大型ロボット生産拠点)の着工

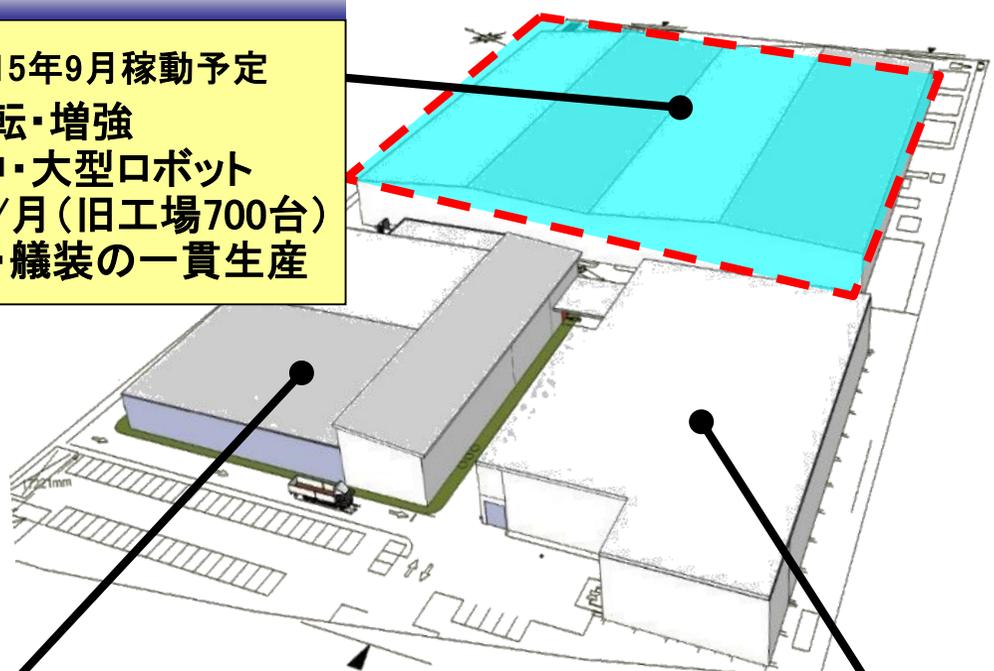
⇒生産能力及び機械加工内製強化により、国内生産能力を増強(15年度末:2,500台/月)

中間事業所

【新第3工場設置】 ※15年9月稼動予定

現第3工場機能を移転・増強

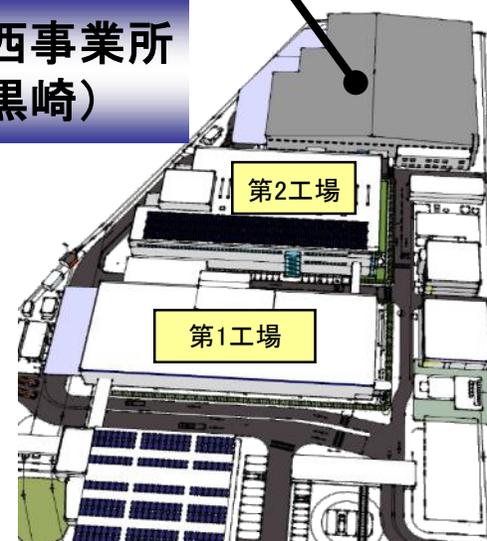
- ① 生産品目:一般中・大型ロボット
- ② 生産能力:900台/月(旧工場700台)
- ③ 組立・試験・塗装・艤装の一貫生産



【現第3工場】 ※15年11月稼動予定

- ① ロボット試験棟整備
(耐久試験・ソリューションテストエリア)
- ② 物流エリア
- ③ 将来拡張エリア

八幡西事業所 (黒崎)



【第2機械工場】

マシニングセンタ:3台(+10台増設)

【機械加工センタ】

マシニングセンタ:11台

2. 2014年度通期見通し

2014年度通期見通し(概要)

- 好調な主力事業、円安基調を背景に、通期計画を上方修正
- 売上高・当期純利益ともに過去最高を計画

	14／通期 今回計画	14／通期 前回計画	前回計画比 増減額	13／通期	前年度比 増減額 増減率	
売上高	4,000億円	3,950億円	+50億円	3,636億円	+364億円	+10.0%
営業利益	315億円	300億円	+15億円	257億円	+58億円	+22.6%
経常利益	330億円	310億円	+20億円	271億円	+59億円	+21.8%
当期純利益	235億円	225億円	+10億円	170億円	+65億円	+38.5%

[注] 表内「14/通期前回計画」は、2014年10月21日 第2四半期決算発表時点の計画数値

2014年度通期見通し(セグメント別)

・ 好調な(M)(R)が牽引し、増収増益

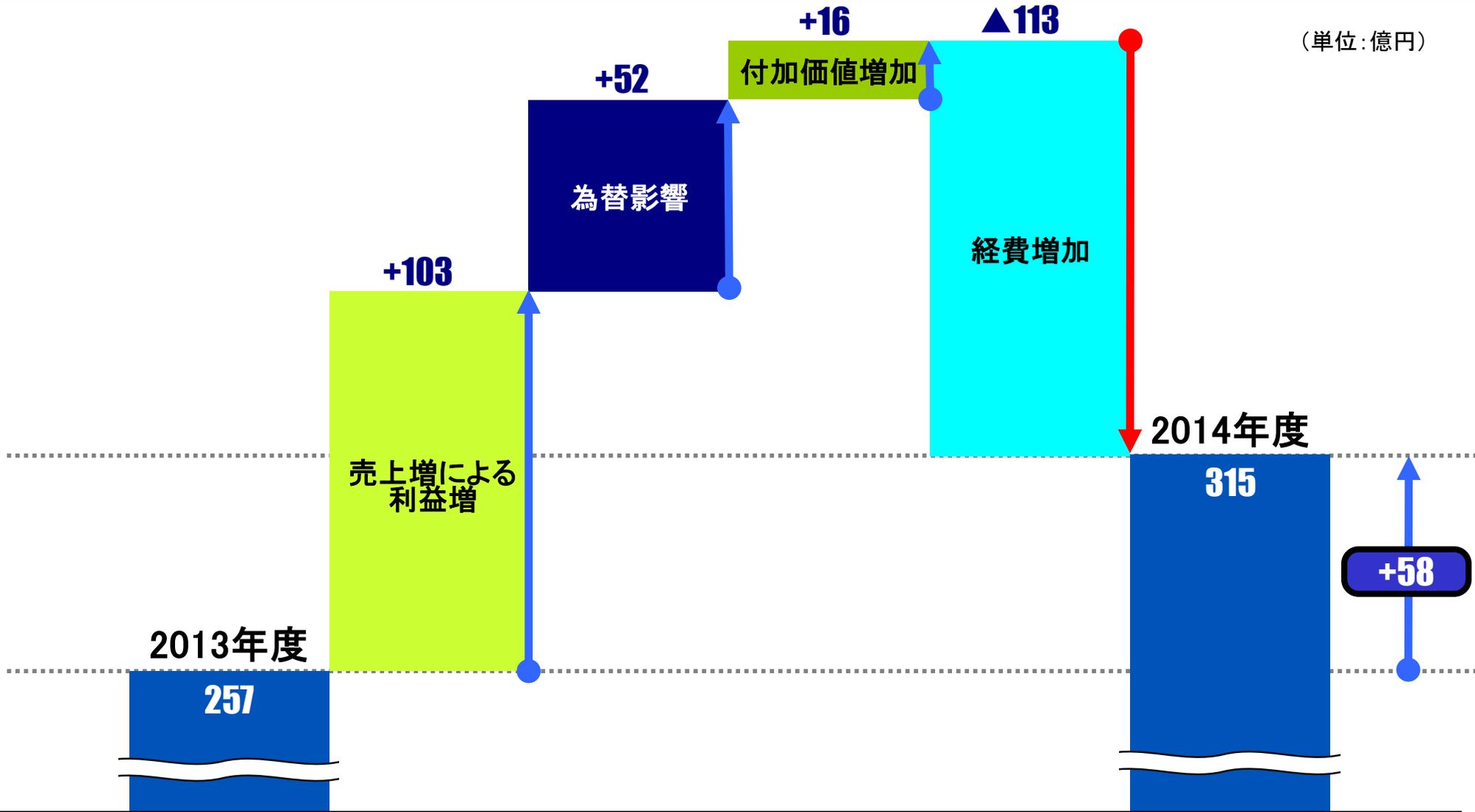
(単位: 億円、%)

	14/通期		14/通期		前回計画比 (増減額)	13/通期		前年度比	
	今回計画	利益率	前回計画	利益率		利益率	増減額	増減率	
売上高	4,000		3,950		+50	3,636	-	+364	+10.0%
(M) モーションコントロール	1880		1,850		+30	1,623	-	+257	+15.8%
(R) ロボット	1370		1,350		+20	1,225	-	+145	+11.8%
(S) システムエンジニアリング	395		395		-	353	-	+42	+11.8%
その他	355		355		-	434	-	▲79	▲18.1%
営業利益	315	7.9%	300	7.6%	+15	257	7.1%	+58	+22.6%
(M) モーションコントロール	220	11.7%	206	11.1%	+14	164	10.1%	+56	+33.9%
(R) ロボット	114	8.3%	113	8.4%	+1	95	7.8%	+19	+19.9%
(S) システムエンジニアリング	▲12	-	▲12	-	-	▲0	-	▲12	-
その他	7	1.8%	7	1.8%	-	11	2.6%	▲5	▲41.2%
全社・消去	▲14	-	▲14	-	-	▲13	-	▲0	-
経常利益	330	8.3%	310	7.8%	+20	271	7.4%	+59	+21.8%
当期純利益	235	5.9%	225	5.7%	+10	170	4.7%	+65	+38.5%

[注] 表内「14/通期前回計画」は、2014年10月21日 第2四半期決算発表時点の計画数値

営業利益増減要因分析(2013年度⇒2014年度)

(単位: 億円)



参考資料

設備投資、研究開発費、為替状況

◆設備投資の状況(連結)

(単位:億円)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度計画
設備投資額	99.1	158.9	169.8	310.0
減価償却費	76.1	81.1	92.2	110.0

◆研究開発投資の状況(連結)

(単位:億円)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度計画
研究開発投資	103.9	107.3	140.3	150.0

◆為替状況(連結)

(円)

	2011年度		2012年度		2013年度		2014年度	
	11/4-12	通期	12/4-12	通期	13/4-12	通期	14/4-12	年度想定
対 米ドル	79.4	79.0	79.9	81.9	98.4	99.6	104.8	107.4
対 ユーロ	112.0	109.5	102.1	105.7	130.2	132.7	139.5	138.4

(注)期中平均レート

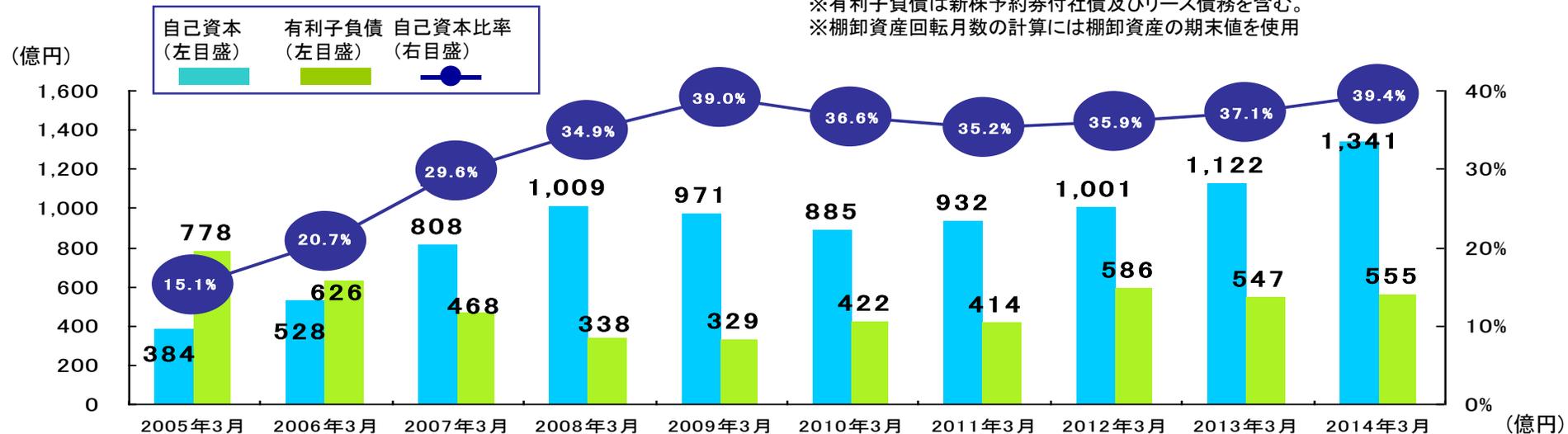
B/S構造の推移

2014年3月20日時点

- 自己資本比率 39.4%
- 自己資本 1,341億円
- 有利子負債 555億円
- D/Eレシオ 0.41
(ネットD/Eレシオ) 0.24
- 棚卸資産 784億円
(回転月数) (2.6ヶ月)

2014年12月20日時点

- 自己資本比率 42.1%
- 自己資本 1,618億円
- 有利子負債 662億円
- D/Eレシオ 0.41
(ネットD/Eレシオ) 0.26
- 棚卸資産 920億円
(回転月数) (2.9ヶ月)



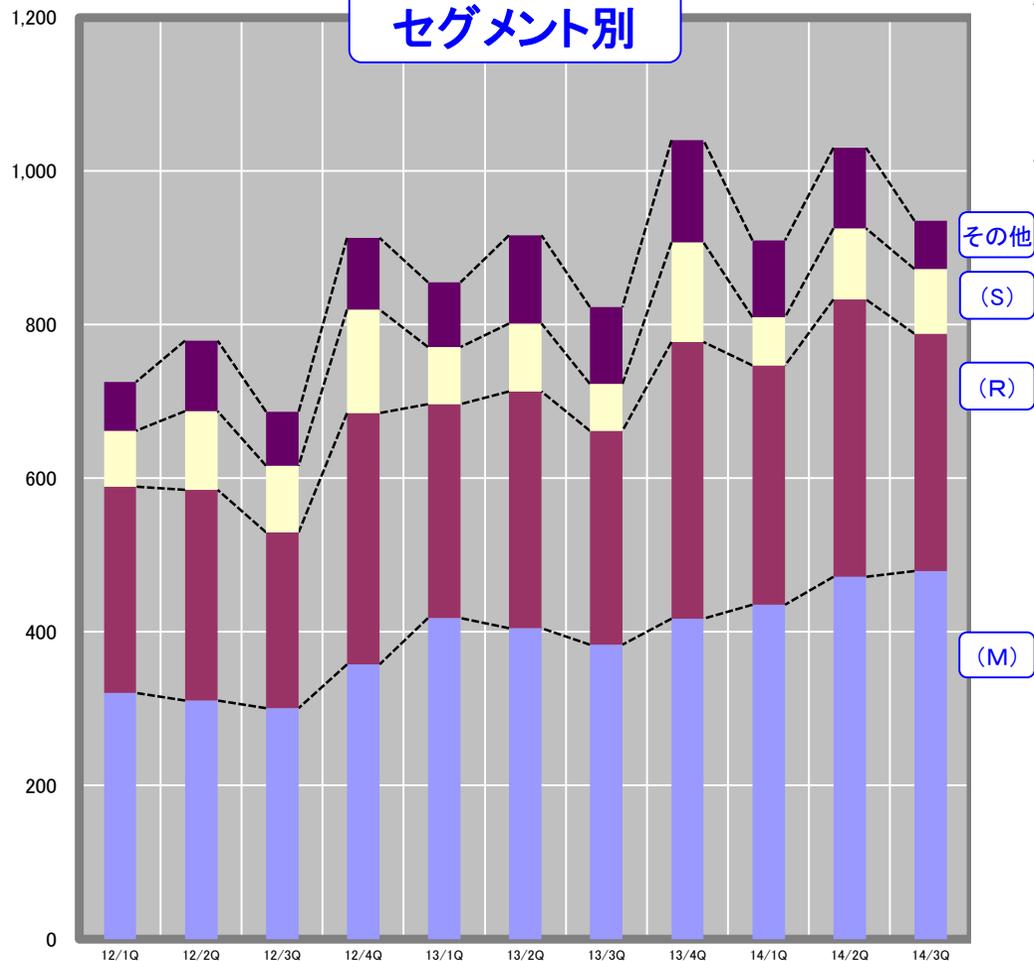
※有利子負債は新株予約券付社債及びリース債務を含む。
 ※棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用

営業CF	58	187	150	177	125	40	25	64	246	241
投資CF	▲22	▲97	▲61	▲99	▲107	▲65	▲67	▲119	▲181	▲170
フリーCF	35	90	89	78	18	▲24	▲43	▲55	66	70

四半期連結売上高推移

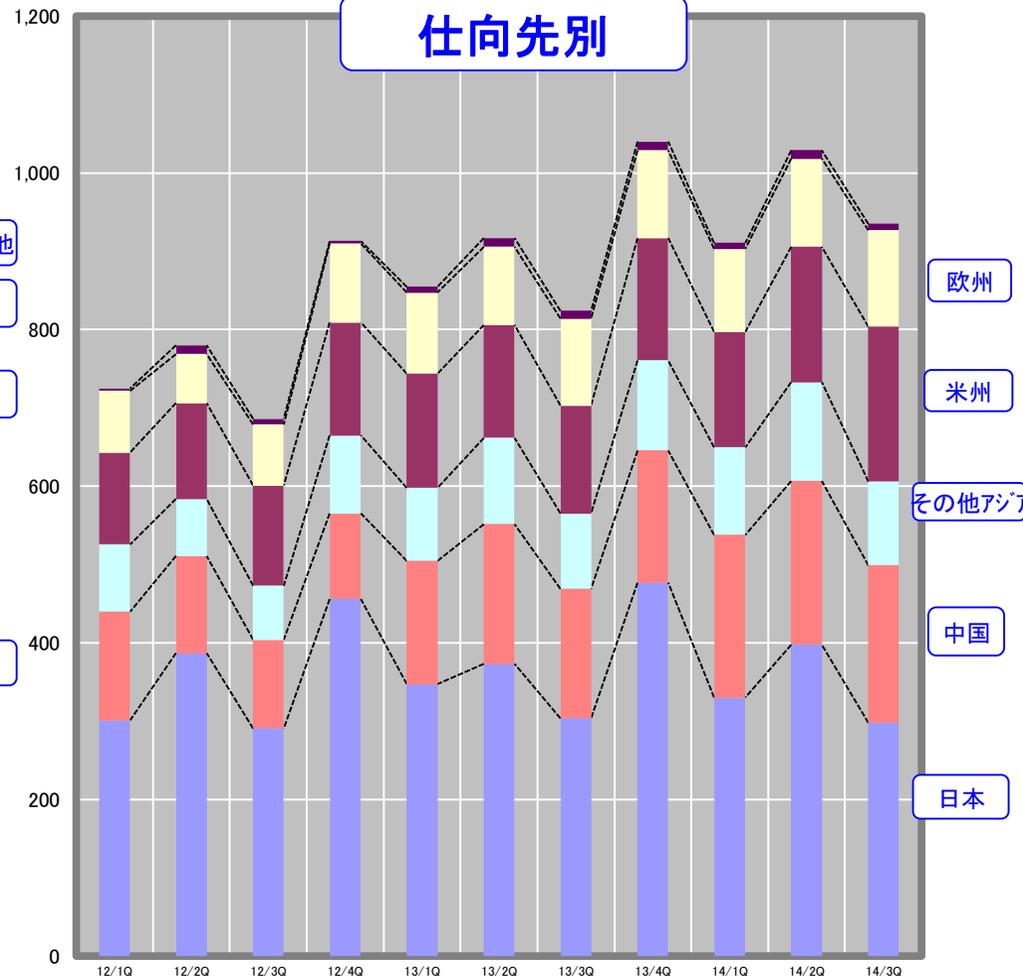
(億円)

セグメント別



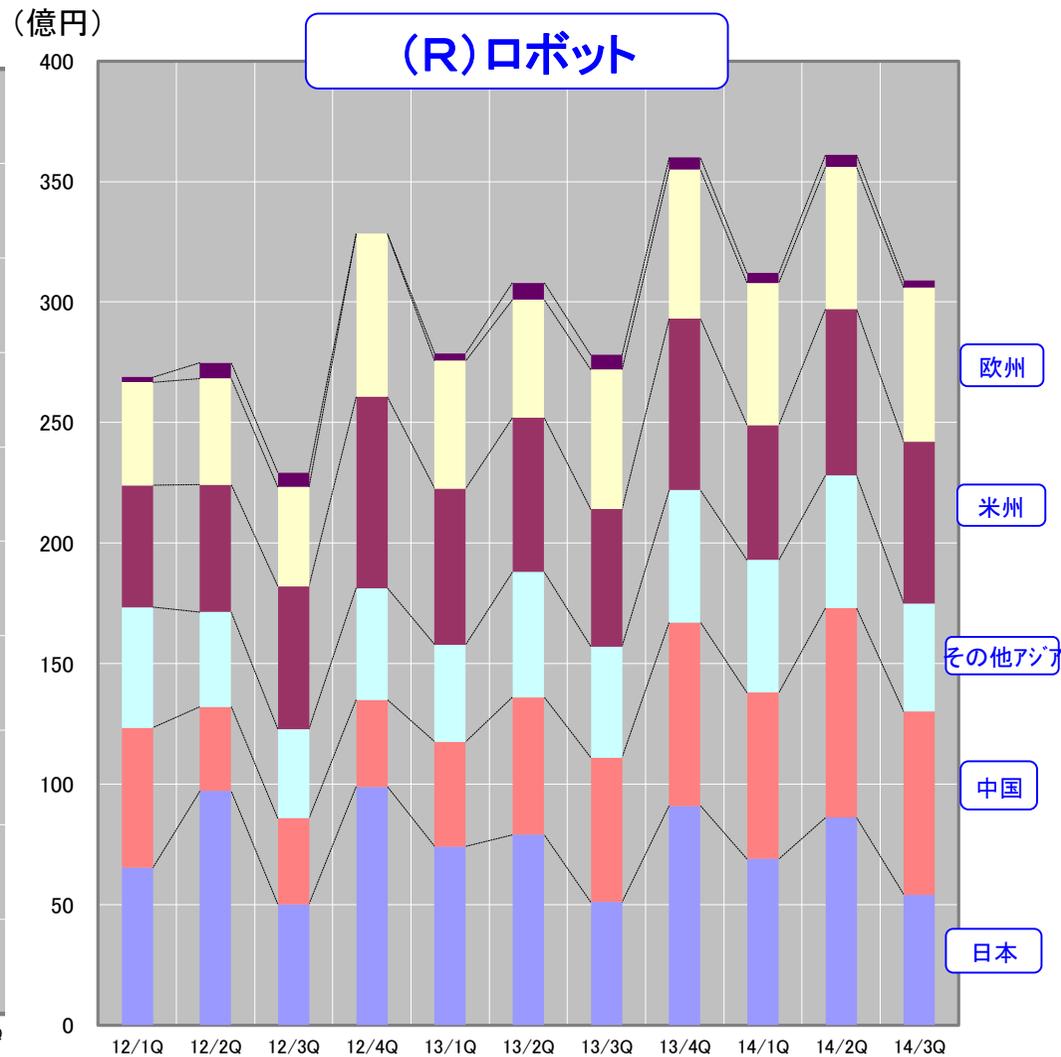
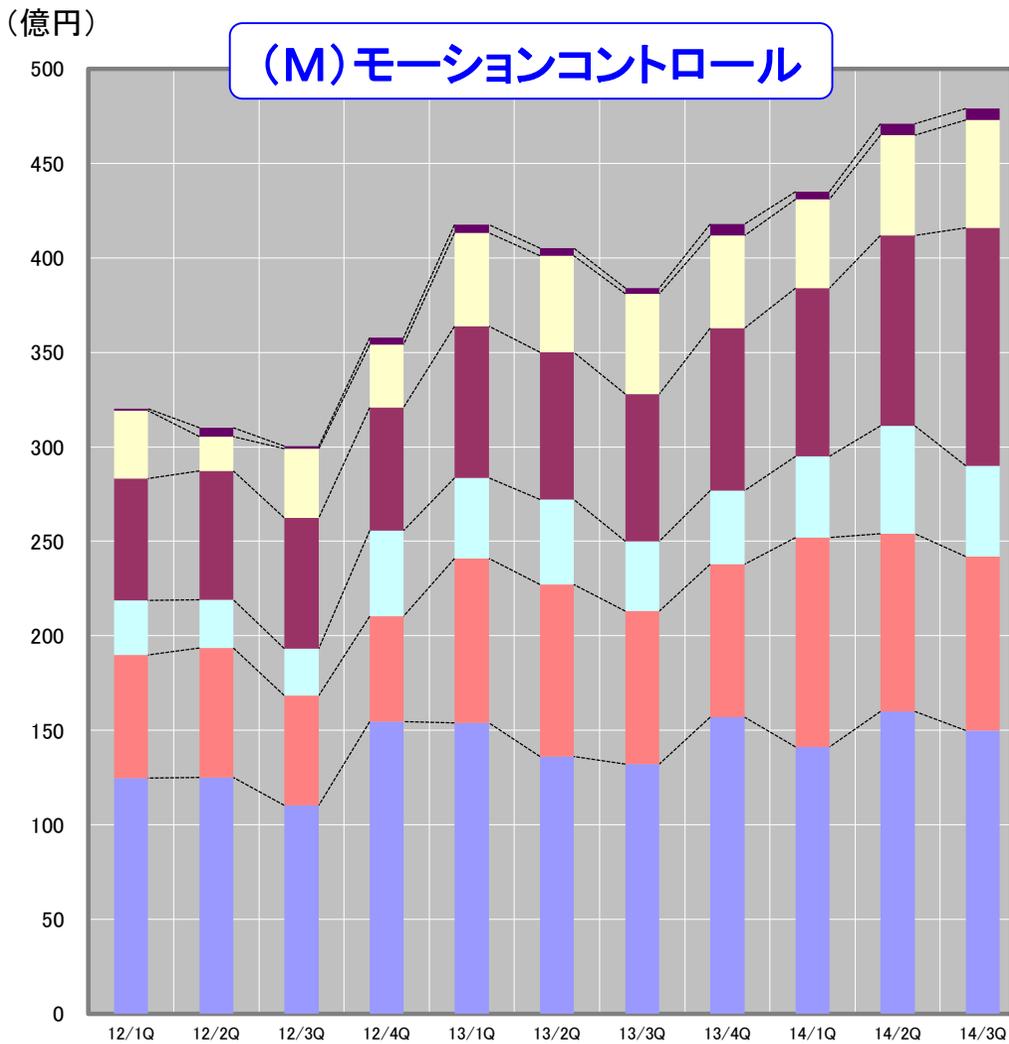
(億円)

仕向先別



(注) 1. 表記:(M)=モーションコントロール (R)=ロボット (S)=システムエンジニアリング

四半期連結売上高推移



主要生産拠点



- 安川電機 国内生産拠点
- 海外主要生産拠点

本資料に記載されている業績見通しは将来の予測であり、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。

実際の業績等に影響を与えうる重要な原因には当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。